

写真>>
屋形船で行く！
裏磐梯歴史探訪ツアー
から>>

裏磐梯発エコツーリズムの普及事業に向けて

福島県より「ふるさと雇用再生事業」の委託を受け、平成21年度より3年間裏磐梯からエコツーリズムの普及へ向けて県内へ情報を発信する「裏磐梯発エコツーリズム普及事業」を実施しています。

ほんだい たからびと 【磐梯の宝人】

今月号のウワサの“達人”
今回の達人は、猪苗代町にお住まいの
「江花俊利えばなとしのぶ」さんです。



江花さんは、猪苗代伝保人の会会長で猪苗代の偉人を考える会の会長、いなわしろ山岳会の会長でもあり山の達人です。猪苗代の歴史遺産や偉人を研究し、独自の見解で町外の方々に発信し、自然環境の事、町づくりの事・・・と多忙な毎日を送っていらっしゃるようです。昨年はいつ頃からか失くさっていた三角点の復旧を行い、磐梯山を守っていただくご尽力されています。

今回の震災では、「人間はおごることなく自然や歴史から学び活かす事を目指し、そして地球に対して謙虚であれ。」と。また「これ以上文明を発達させないという努力が必要だ」とおっしゃっています。



目次

P.1

北塩原の歴史探訪ツアー
エコツアーカフェ「水って何だろう」

P.2

エコツーリズム宝ツアー
のご案内

湖上から歴史の舞台を見てみよう！屋形船ツアー

9月15日（木）松原歴史館から始まる屋形船ツアーを行いました。まずは北塩原の味、山塩ラーメンを召しあがっていただき館内の見学を。湖上遊覧に備え、あらかじめ湖底に沈む檜原集落のジオラマや木地師の道具など興味深い展示をみていただきました。いよいよ屋形船に乗りこみ、秋の気配を感じる湖面・・・というよりまだ陽の照り返しの強さの残る湖面を見ながらの湖上遊覧です。涼しい風が入ってきて、湖面が目前に・・・湖上からは見慣れたと思っている景色もいつもと違います。案内人の伊藤氏・小野氏から噴火と植物のお話や米沢街道にまつわる歴史を話していただきました。少しの揺れとエンジンの音、船に当たる波の音にいつもと違う心地よさです。花豆モンブランと薫り高いコーヒーのおやつ後は、歴史のお話の穴沢一族ともかかわりの深い「守り狐」の紙芝居・絵付け体験と続き、心地よい風が吹く中、それぞれに思いを込めて作っていただきました。屋形船をお借りした「民宿えんどう」さんからは、大根のお土産やとうもろこしの差し入れもあり感謝感激！今回は裏磐梯を楽しく知っていただくモデルツアーの企画ですが、検討すべき点を改良しもっと魅力的なツアーに作り上げていきます。さあ、次回の猪苗代探訪ツアー楽しみます。ぜひご参加下さい。

第1回エコツアーカフェ「“水”ってなんだろう？」

10月6日（木）本年第1回目のエコツアーカフェを開催しました。講師はプロジェクトウェットファシリテーターでもあり、「仙台リバーズネット・梅田川」で市民活動、「水・環境ネット東北」で環境教育を実践されている石川治氏をお迎えしました。

まず、水を使うということは水を汚すことに始まり「必要なとき・必要な場所・必要な量・質」の水があることが当たり前のように思っている私たちの認識を問われました。

水源地でもある裏磐梯の豊かな水に囲まれていると、上流から下流まで何回も「きれいにされて使われて」が繰り返されていくことが遠いことにしか感じられませんが、これが毎日繰り返されているのが今の日本の現状です。

アクティビティーでは、仮想でカレーの材料を買ってきてチキンとビーフカレーを作り、カレーに含まれるバーチャルウォーター（直接消費される水ではなく、農畜産物《輸入分を含む》を生産する際に使われる水）の量を計算しました。チキンカレーの1皿分は1117ℓでペットボトル（2ℓ）558本。ビーフカレーはその4倍でした。水の未来を考えると「小さなことからコツコツと」がいかに大切かわかります。今回、裏磐梯中学校の生徒さん達も“飲み残しゼロ”のポスターを書いて下さいました。今回のエコツアーフェスタ会場でご披露いたします。皆さん見に来て下さい。



裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村
大字松原字小野川原 1092-65
TEL 0241-23-7860
FAX 050-7541-2411
www.eco-urabandai.com



ばんだいの“宝”発見講座

裏磐梯エコツーリズムカレッジ 2011

「ばんだいの宝発見講座」

今年度よりカレッジの名前を新たに「ばんだいの宝発見講座」といたしました。皆さんと共に、磐梯の宝をたくさん発見していきたいと思ひます。

この講座では、観光地としての魅力（自然・歴史・文化・人材）を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動を通し、質の高いサービス（おもてなし）の提供を可能にする事を目的とし、住民総ガイドを目指しています。

講座には、どなたでも参加できます。ぜひ、一緒に裏磐梯の宝を再発見・再認識いたしまししょう！

源流域裏磐梯の水を守ろう！

「飲み残しゼロ運動」展開中！

ペットボトルを半分飲んだまま、缶コーヒーを残したまま、日頃つい残してしまう、コップの中身を流してしまうと、きれいな水に戻すにはその数倍の水を必要とします。油に気を使うだけでなく、ふだんの飲み物にも気を使いたいですね…。



2011 11月

『猪苗代歴史探訪ツアー』

～紅葉のいなわしろ 宝を巡る小さな旅～

- 日時／2011年11月15日（火）9時30分～15時00分（小雨決行）
- 集合／猪苗代体験交流館 学びいな 駐車場
- 参加費／2,900円（乗車券・遊覧乗船券・昼食・おやつ・保険代含む）
- 持ち物／飲み物、雨具、歩きやすい靴・服装でお越しください。
- 定員／20名（先着順）
- 見学場所

土津神社 磐梯神社 小平湯天満宮
猪苗代湖遊覧 観音寺山門 など。
この他にも、エコツアーならではの隠れた名所にご案内致します。

※ 終日バスで移動いたします。
熟練ガイドさんによる楽しい解説をお聞き頂きます。
昼食は今年の新そば。湖を眺めながらおいしいおやつでひと休み…
が付いています！



この秋、イチオシ！の猪苗代バスツアー！

生まれも育ちも猪苗代なのに、「おらほのごと、あんま良ぐわがねな～」って声、よく聞きます。この春、猪苗代三十三観音参りに参加されたご婦人は、「地元のことを知る機会があまりなかった。この機会に自分の住んでいる町のことを知り、孫に教えて自慢したい！」とお話されておりました。そんなあなたにオススメです。

日本ジオパークにも認定され、ますます「いなわしろ」に注目が集まっています。保科正之、野口英世、猪苗代兼載…。地域の将来を考え、そこに生きる人達が何を思い暮らしていたのか、この地が育んだ偉人を通して“おらほの地元”を巡ってみます。地元の方だけでなく、被災者の方、旅行者の方、会津（猪苗代）に興味のある方ならどなたでも大歓迎です。猪苗代から見る会津そして福島。日本の文化や伝統、“古くて新しい猪苗代”を再発見する小さな旅にご案内いたします。



<参加申込み>

必要事項をご記入の上、ファックス又はお電話にてお申し込みください。

裏磐梯エコツーリズム協会 ■ F A X : 050-7541-2411 ■ 電話 : 0241-23-7860

※締切りは講座の2日前です。準備等ございますので予めお申込み頂きますようお願い致します。

猪苗代歴史探訪ツアー

参加申込書

ふりがな 名前	生年月日	S・H	年 月 日生 (歳)
住所	〒		
電話	F A X		
E-mail	※ご記入いただきますと、次回からエコツー通信をメールにてご案内いたします。		

※ご記入いただきました個人情報は、当協会カレッジの案内に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。